

民間ネット調査「環境事業に関するアンケート」（令和5年9月実施）の結果

○調査目的

大阪市では、地球温暖化対策やヒートアイランド対策の普及拡大に向けた取組や、生物多様性に関する事業等を実施しています。

そこで、市民のみなさまが大阪市の環境関連事業に関して、どのような意識や考えをお持ちになっているのかをお聞きし、効果的な事業展開を図っていくうえでの参考にするため、今回の調査を実施します。

○調査期間

令和5年9月8日から9月11日

○調査内容

環境事業について

○回答構成

(1) 有効回答数 500 回答（100%）（調査対象 500 人）

(2) 性別 男性：250 回答

女性：250 回答

(3) 回答者属性

回答属性					
年代別		男性	女性	合計	割合
1	～29歳	50	50	100	20.0%
2	30歳～39歳	50	50	100	20.0%
3	40歳～49歳	50	50	100	20.0%
4	50歳～59歳	50	50	100	20.0%
5	60歳以上	50	50	100	20.0%
合計		250	250	500	100.0%
行政区別		男性	女性	合計	割合
1	北区	20	26	46	9.2%
2	都島区	14	8	22	4.4%
3	福島区	9	7	16	3.2%
4	此花区	0	2	2	0.4%
5	中央区	7	9	16	3.2%
6	西区	12	9	21	4.2%
7	港区	6	9	15	3.0%
8	大正区	6	4	10	2.0%
9	天王寺区	4	13	17	3.4%
10	浪速区	11	10	21	4.2%
11	西淀川区	8	14	22	4.4%
12	淀川区	23	13	36	7.2%
13	東淀川区	9	16	25	5.0%
14	東成区	9	8	17	3.4%
15	生野区	4	13	17	3.4%
16	旭区	4	11	15	3.0%
17	城東区	10	13	23	4.6%
18	鶴見区	11	10	21	4.2%
19	阿倍野区	15	11	26	5.2%
20	住之江区	13	10	23	4.6%
21	住吉区	12	7	19	3.8%
22	東住吉区	14	11	25	5.0%
23	平野区	23	13	36	7.2%
24	西成区	6	3	9	1.8%
合計		250	250	500	100.0%

※本調査結果についての留意事項

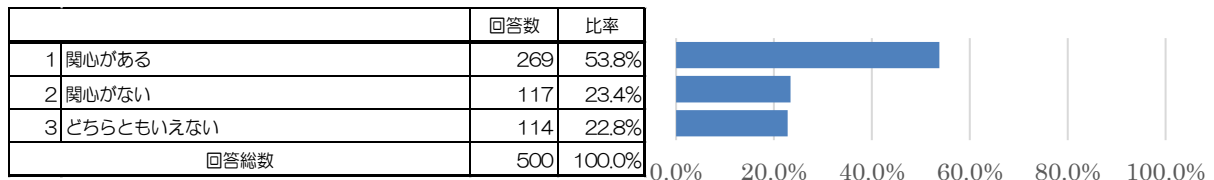
- ・質問文及び選択肢などの長い文章については、簡略化して表示している場合があります。
- ・数値(%)は、各実数を元に比率表示し、小数第2位を四捨五入で算出しています。したがって、内訳の合計が全体の合計に一致しないことがあります。
- また、複数回答の質問については、該当者数を母数に比率表示しています。

○結果概要

(1) 地球温暖化対策について

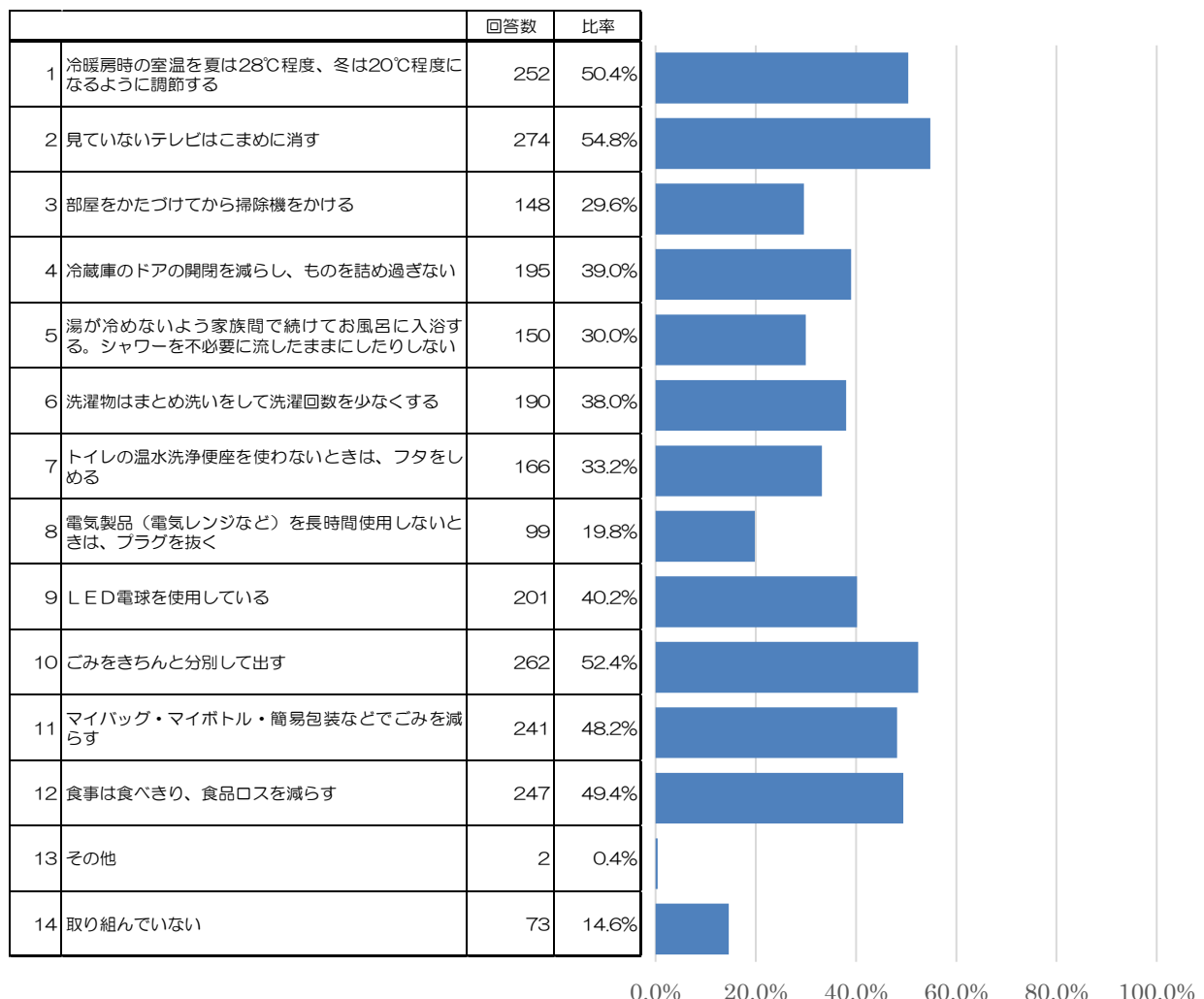
Q1. <地球温暖化への関心>

あなたは、地球温暖化について関心がありますか。あてはまるものを1つお選びください。



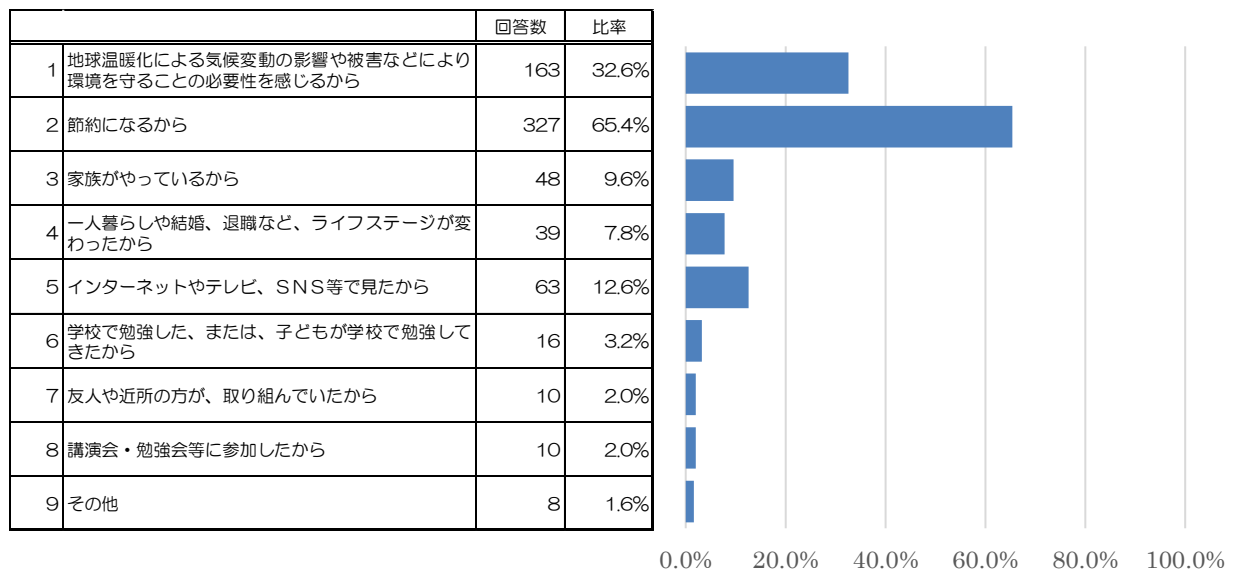
Q2. <省エネ行動の実施状況>

あなたは、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを減らすためにどのような省エネルギーの取組をしていますか。あてはまるものをすべてお選びください。



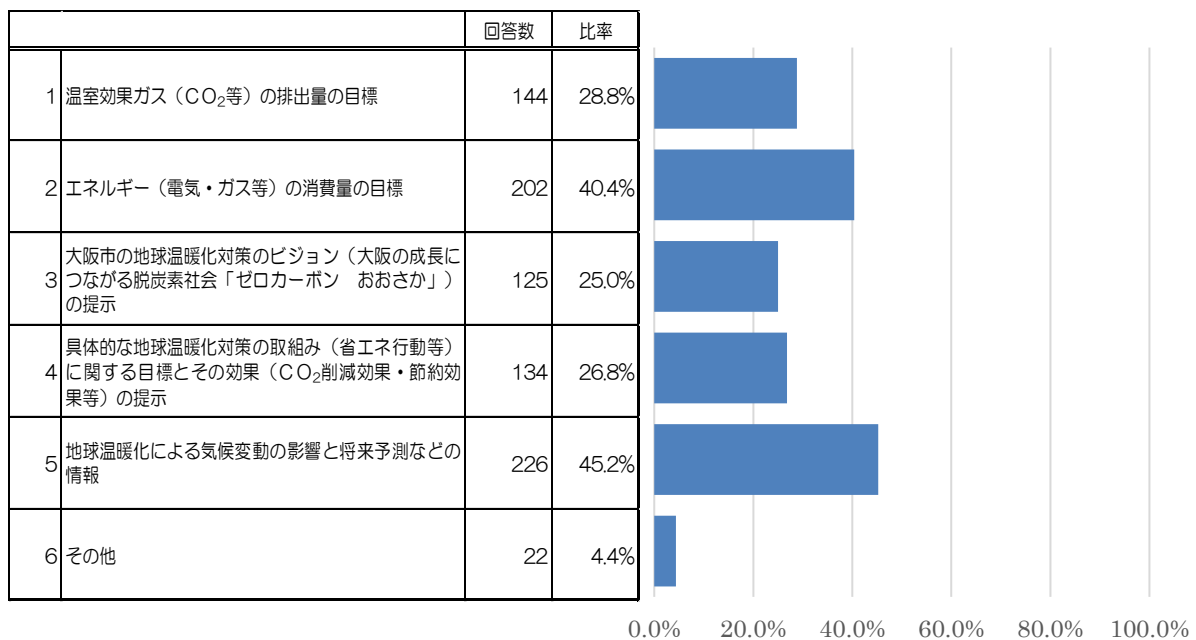
Q3. 〈省エネ行動を始めたきっかけ〉

あなたが始めたきっかけをお選びください。



Q4. 〈地球温暖化対策に取り組む際の情報〉

地球温暖化対策に取り組む際に、どのような情報があると分かりやすい、取り組みやすいと思いますか。



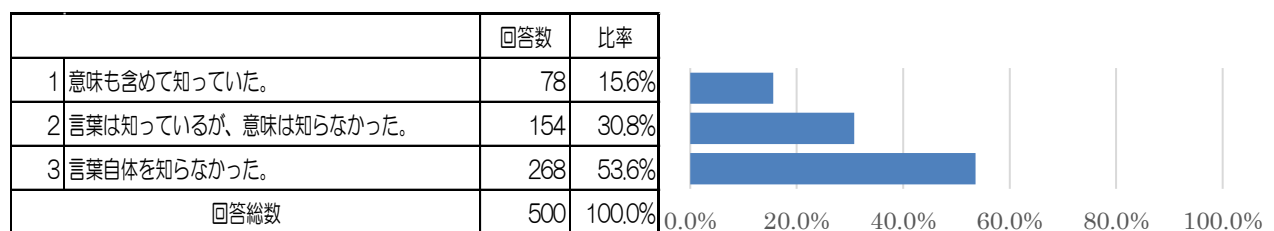
Q5. 〈大阪市の地球温暖化対策〉

地球温暖化対策として、大阪市はどのようなことに優先的に取り組むべきだと思いますか。あてはまるものを3つまでお選びください。



Q6. 〈気候変動への適応の認知度〉

気候変動への「適応」についてお伺いします。あなたは「適応」という言葉を知っていますか。

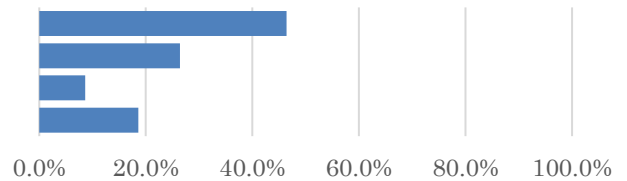


（２）ヒートアイランド対策について

Q7. 〈ヒートアイランド現象の認知度〉

あなたは、『ヒートアイランド現象』という言葉や内容を知っていますか。もっとも近いものを1つお選びください。

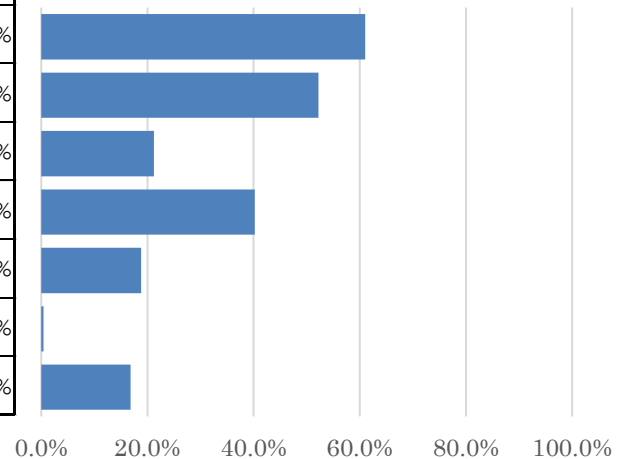
	回答数	比率
1 言葉も内容も知っていた	232	46.4%
2 言葉は知っていたが、内容は知らなかった	132	26.4%
3 内容は知っていたが、言葉は知らなかった	43	8.6%
4 言葉も内容も知らなかった	93	18.6%
回答総数	500	100.0%



Q8. 〈ヒートアイランド現象のイメージ〉

「ヒートアイランド現象」について、あなたが生活していくうえで感じることは何ですか。あてはまるものを3つまでお選びください。

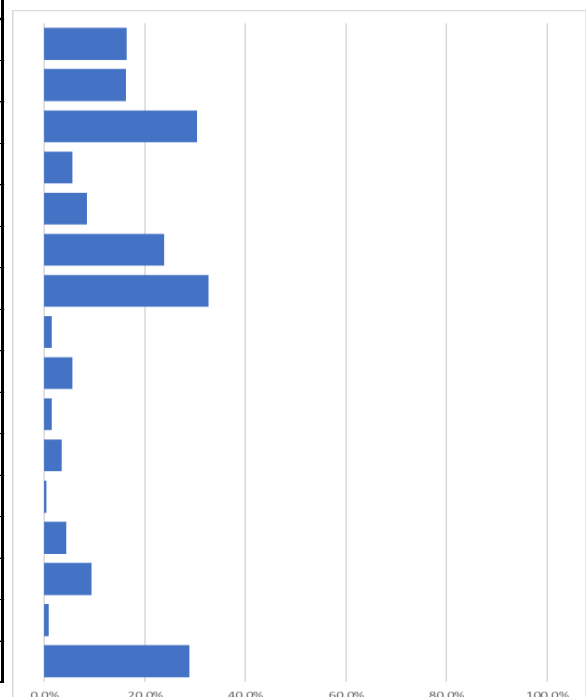
	回答数	比率
1 街なかが暑く、日中に出歩きにくい	305	61.0%
2 夜が暑く、夜中に寝苦しい	261	52.2%
3 体調管理しにくく、また熱中症などが心配である	106	21.2%
4 暑さによりエアコンの使用頻度が多くなり、電気代が高くなる	201	40.2%
5 局所的な集中豪雨による浸水被害などが心配である	94	18.8%
6 その他	2	0.4%
7 あてはまるものはない	84	16.8%



Q9. 〈ヒートアイランド対策の取組〉

ヒートアイランド対策の取組として、次にあげるものがあります。あなたが取り組んでいるものをすべてお選びください。

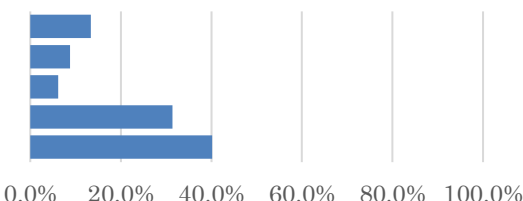
	回答数	比率
1 緑のカーテン、よしずによる日差し遮断	82	16.4%
2 打ち水、ドライミストなど水を活用	81	16.2%
3 公共交通機関の積極的な利用	152	30.4%
4 エコカーの使用	28	5.6%
5 エコドライブの実施	42	8.4%
6 省エネ家電（テレビ、冷蔵庫、エアコン等）の使用	119	23.8%
7 LED電球などの高効率照明の使用	163	32.6%
8 見える化機器・HEMSの使用	7	1.4%
9 高効率給湯器（エコキュート、エコジョーズなど）の設置	28	5.6%
10 家庭用コージェネレーションシステム（エコウィル、エネファームなど）の設置	7	1.4%
11 太陽光発電設備の設置	17	3.4%
12 太陽熱温水器の設置	2	0.4%
13 緑化、高反射率塗装などによる建物表面の高温化の防止	22	4.4%
14 建物の断熱化（複層ガラス、内窓、断熱壁など）	47	9.4%
15 その他	4	0.8%
16 取り組んでいない	144	28.8%



Q10. 〈打ち水の実施状況〉

個人でできる身近なヒートアイランド対策のひとつに『打ち水』がありますが、あなたは、夏場に『打ち水』を行っていますか。もっとも近いものを1つお選びください。

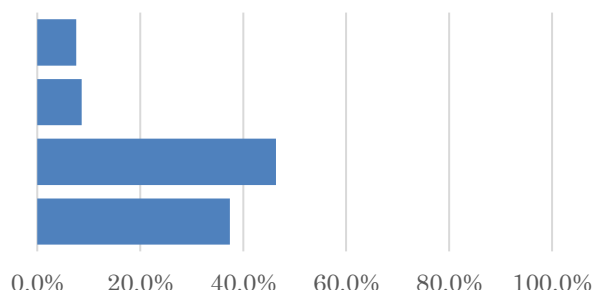
	回答数	比率
1 毎年行っている	67	13.4%
2 毎年ではないが行っている	44	8.8%
3 以前は行っていたが、いまは行っていない	31	6.2%
4 行いたい、実施できる環境がない	157	31.4%
5 意識がなく、全く行っていない	201	40.2%
回答総数	500	100.0%



Q11. 〈緑のカーテン・カーペットづくりの実施状況〉

『打ち水』のほか、身近なヒートアイランド対策のひとつに『緑のカーテン・カーペット』づくりがありますが、あなたは夏場『緑のカーテン・カーペット』づくりに取り組んでいますか。あてはまるものを1つお選びください。

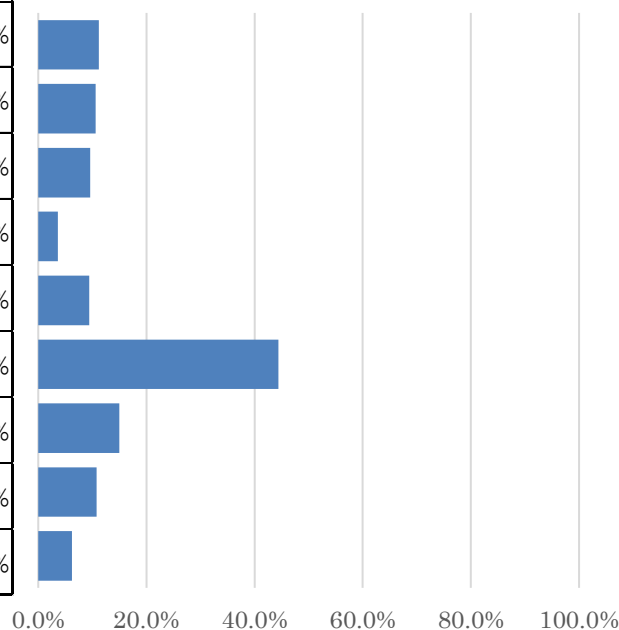
	回答数	比率
1 緑のカーテン・カーペットづくりのいずれか1つでも取り組んでいる	38	7.6%
2 以前は取り組んでいたが、今は取り組んでいない	43	8.6%
3 取り組んでみたいが、取り組める環境がない	232	46.4%
4 取り組んでいないし、これからも取り組むつもりはない	187	37.4%
回答総数	500	100.0%



Q12. 〈緑のカーテン・カーペットに関する情報〉

あなたはどこで緑のカーテン・カーペットを知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数	比率
1 チラシ・リーフレット	56	11.2%
2 区の広報紙	53	10.6%
3 大阪市ホームページ	48	9.6%
4 なにわエコスタイル（大阪市が運営する環境学習情報発信サイト）	18	3.6%
5 SNS（Twitter・Facebook・Instagram等）	47	9.4%
6 テレビ、新聞、雑誌	222	44.4%
7 家族、友人、知人	75	15.0%
8 大阪市施設での取組を見て	54	10.8%
9 その他	31	6.2%



Q13. 〈夏を快適に過ごすために工夫していること〉

あなたが暑い夏を快適に過ごすためにあなたが工夫していることはありますか。あてはまるものを3つまでお選びください。

		回答数	比率
1	窓、扉を開けて風とおしをよくしている	218	43.6%
2	クーラーなどの冷房器具を適切に使用している	318	63.6%
3	クールビズ、日傘の使用など服装を工夫している	155	31.0%
4	クールスポットを活用している	23	4.6%
5	気象予報、暑さ指数（WBGT）、熱中症予防に関する情報を活用している	76	15.2%
6	その他	8	1.6%
7	工夫していることはない	80	16.0%

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%

（3）生物多様性について

Q14. 〈生物多様性の認知度〉

私たちは、日々の暮らしの中で「生物多様性」の多大なる恵みを受けています。あなたは、「生物多様性」という言葉や意味を知っていますか。あてはまるものを1つお選びください。

	回答数	比率
1 言葉も意味も知っていた	134	26.8%
2 言葉は知っていたが、意味は知らなかった	149	29.8%
3 言葉も意味も知らなかった	217	43.4%
回答総数	500	100.0%

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%

Q15. 〈生物多様性に関する情報〉

あなたは「生物多様性」という言葉をどこで知りましたか。あてはまるものをすべてお選びください。

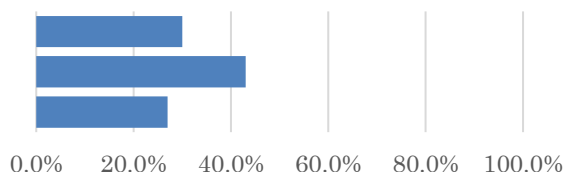
	回答数	比率
1 大阪市の開催する環境学習講座	14	2.8%
2 大阪市関連施設でのイベント、展示等	21	4.2%
3 リーフレット、冊子	24	4.8%
4 大阪市ホームページ	30	6.0%
5 なにわエコスタイル（大阪市の運営する環境学習情報発信サイト）	11	2.2%
6 SNS（Twitter・Facebook・Instagram等）	45	9.0%
7 テレビ、新聞、雑誌	173	34.6%
8 家族、友人、知人	28	5.6%
9 その他	17	3.4%

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%

Q16. 〈生物多様性の恵み〉

あなたは日々の暮らしの中で、自然や生き物を身近に感じますか。あてはまるものを1つお選びください。

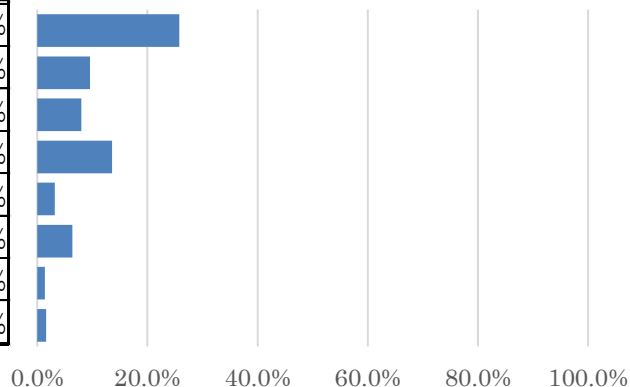
	回答数	比率
1 感じる	150	30.0%
2 感じない	215	43.0%
3 わからない	135	27.0%
回答総数	500	100.0%



Q17. 〈自然や生き物を身近に感じるとき〉

あなたは日々の暮らしの中で、どのような場所で自然や生き物を身近に感じますか。あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数	比率
1 公園	129	25.8%
2 道路	48	9.6%
3 寺・神社	40	8.0%
4 川辺	68	13.6%
5 建物（寺、神社、学校を除く）	16	3.2%
6 海辺	32	6.4%
7 学校	7	1.4%
8 その他	8	1.6%



Q18. 〈生物多様性保全に貢献する取組〉

生物多様性を保全し、自然と共生していくためには、一人ひとりの行動も重要です。あなたが現在実行していることはありますか。あてはまるものをすべてお選びください。

	回答数	比率
1 地産地消を心がけ、旬の食材や自分が住んでいる地域でとれたものを食べる	101	20.2%
2 食品ロスなどの無駄な消費をなくすように心がける	283	56.6%
3 省エネなど地球温暖化防止に配慮したライフスタイルを心がける	123	24.6%
4 生物多様性に配慮した認証製品や生物多様性保全に貢献している企業の商品やサービスを選ぶ	26	5.2%
5 外来種をペットとして飼ったり、栽培するときは責任を持って行い、放したり捨てたりしないようにする	47	9.4%
6 海、山、川などに行き、身近な自然を楽しく経験する	85	17.0%
7 山や川、海など自然のなかへ出かけるときは、ごみ捨てなどのマナーを守り、自然を汚さないように努める	121	24.2%
8 清掃活動に参加するなど、まちの美化に努める	32	6.4%
9 自然観察会などの活動に積極的に参加し、自然に対する理解を深める	23	4.6%
10 里山、農地、ため池など身近な自然環境の保全活動に参加する	14	2.8%
11 外来種の駆除活動や希少種の保護活動に参加する	15	3.0%
12 その他	2	0.4%
13 あてはまるものはない	122	24.4%

